

## 当院での診療をご検討中の皆様へ

### 埼玉県における循環器診療と新型コロナウイルス感染予防の取り組み



循環器内科科長  
副センター長  
藤田英雄



心臓血管外科科長  
センター長補佐  
山口敦司

梅雨明けも近づき、今後、暑さの厳しい夏本番を迎えますが、新型コロナウイルス（Covid-19）は、現在も世界的な感染拡大を認めており、我が国においても、生活様式、職場環境、コミュニケーションのあり方に大きな影響を及ぼしています。新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、各医療機関も院内感染予防など様々な取り組みを行なっています。

自治医科大学附属さいたま医療センターは、人口 130 万人の政令指定都市であるさいたま市唯一の大学関連病院であり、昨年開設 30 周年を迎えました。循環器内科・心臓血管外科は、車輪の両輪として、地域の医療機関の先生方と緊密な連携を取って専門性の高い先進的なチーム診療を行ない、さいたま市のみならず埼玉県全域の循環器診療の発展に尽力して参りました。

新型コロナウイルス感染下におきましても、当センターはこれまでの診療レベルを維持し、急性心筋梗塞や狭心症などの虚血性心疾患に対するカテーテル治療（PCI）、カテーテルによる不整脈治療、低侵襲な心臓大動脈手術、急性大動脈解離などの重篤な大動脈疾患に対する緊急手術などを継続して行って参りました。

## 新型コロナウイルス感染症の診療に関する当院の現状と循環器疾患の診療方針は以下の通りです。

- **当センターは、感染症指定医療機関ではありません。**

新型コロナウイルス感染症が疑われる場合には、さいたま市保健所・帰国者/接触者相談センターに連絡をとっていただいております。診断目的に当センターを受診されることはありません。新型コロナウイルス感染症の軽症患者様の治療も行っておりません。

埼玉県・さいたま市・保健所からの要請に応える形で、Covid-19 感染診断確定後の重症患者様のみを対象として、人工呼吸器や体外式膜型人工肺（ECMO）などを使用した高度治療を行いました。**感染患者様の治療は、特定の診療区画内でのみ行っており、循環器疾患の診療は異なる区画で行っています。**

- **入院患者様の院内感染予防対策**

病院内の感染対策を統括する感染制御室スタッフと緊密な連携を取り、新型コロナウイルスに対する徹底した院内感染予防策を講じており、これまで当センターにおいて医療従事者・入院患者様の院内感染発生は認めていません。

具体的には、入院部門（病棟、カテーテル室、手術室など）の綿密な環境消毒を行っています。診断／検査目的に**予定入院**される患者様には、新型コロナウイルス感染に関する問診検査を実施するとともに、ウイルス曝露リスクが比較的高い手術・検査を受ける患者様には入院 1 週間前の PCR 検査を全例に実施しています。重篤な循環器疾患の治療目的に**緊急入院**される方に対する手術や処置に関しては、PCR 検査の結果に関わらず、肺炎の有無を評価することを目的として、胸部 CT 検査を全例に行っています。新型コロナウイルス感染の可能性が否定できない場合には、個人用防護具を使用した感染防護体制下で診療を行っています。この他、入院患者様の面会制限、付き添いの方のマスク着用の徹底なども行っています。

また、職員ひとりひとりの健康状態の確認も行っています。発熱、だるさなどを日々チェックし、毎日の健康観察表をつけてもらい、より正確に、できるだけ早い段階で発症を捕まえるよう心がけています。

- **外来受診患者様の院内感染予防対策**

循環器内科及び心臓血管外科外来を受診される患者様に対しては、来院時のご本人及び同伴されるご家族に対してのサーモグラフィーによる体温確認を導入し、**発熱症例に対する防疫体制**の元、外来診療を行っています。この他、電話診察の導入も積極的に行い、外来待ち時間の削減を目指しています。

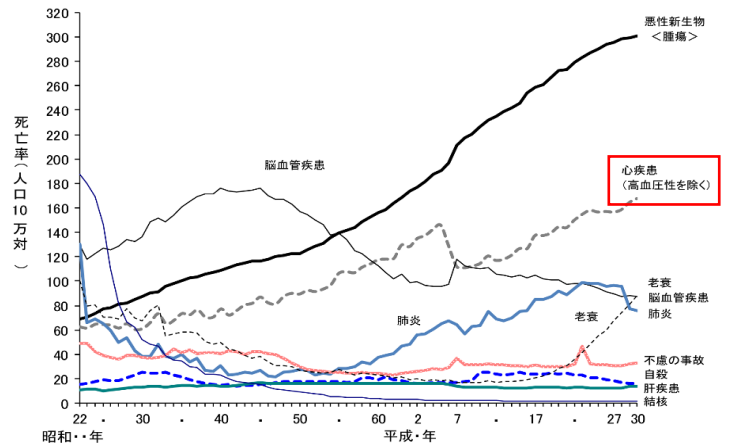
## 循環器診療の重要性と地域貢献

近年の高齢化に伴い、循環器疾患に罹患される症例は増加しています。右図は我が国における死亡原因の推移になりますが、心疾患は悪性新生物（癌）に次ぐ第二位の死亡原因であり、増加傾向を認めています。

循環器疾患全般の特徴として、急激に状態が悪化し、重症化するリスクが高いことが挙げられます。新型コロナウイルス感染の可能性を懸念され、医療機関の受診を控えることで、**適切な時期に検査・治療を受けることができず、循環器疾患の状態が悪化する可能性**が指摘されています。

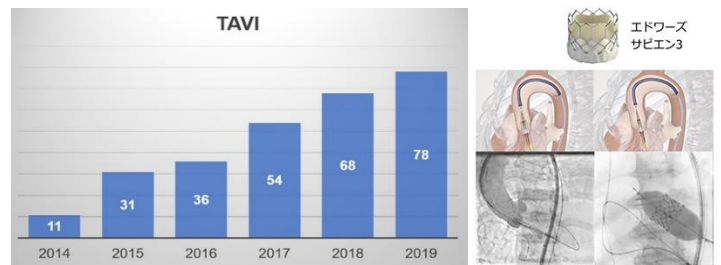
当センターでは、今後も厳格な感染対策を継続しながら、埼玉県地域の皆様に安全で質の高い診療をご提供するとともに、安心して来院していただけるよう、職員一同、精一杯精進して参りたいと考えています。

循環器内科・心臓血管外科の対象疾患は多岐に渡りますが、患者様の負担の少ない**低侵襲治療**の実施を心がけています。大動脈弁狭窄症に対する経皮的動脈弁移植術（TAVI）は、循環器内科と心臓血管外科を中心とするハートチームにより良好な治療成績が得られています。



我が国における死亡原因の推移（厚生労働省 人口動態統計より）

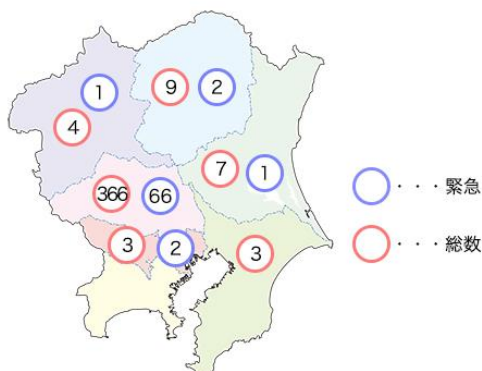
2019年度の治療実績に関しては、虚血性心疾患に対するPCI手術を846例、心臓胸部大動脈手術を394例に施行いたしました。循環器緊急疾患への対応では、急性心筋梗塞に対する急性期治療を313例に対して行い、このうち、緊急PCI実施件数は214例でした。また、感染性心内膜炎や急性大動脈解離などの疾患に対する緊急の心臓大血管手術も72例に実施しました。



当センターにおける TAVI 実施件数の推移

自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科・心臓血管外科は、これまで培ってきた診療ネットワークを生かして、埼玉県内の多くの病院・診療所の先生方と緊密な連携を取り、今後も、全ての循環器疾患の対応していく所存です。また、待機的手術だけでなく、迅速な治療が求められる急性心筋梗塞や急性大動脈解離などの緊急疾患にも、より一層、積極的に取り組んでまいります。

### 2019年度心臓・胸部大動脈手術症例の地域別内訳



群馬県	総数：4	緊急：1
栃木県	総数：9	緊急：2
埼玉県	総数：366	緊急：66
茨城県	総数：7	緊急：1
東京都	総数：3	緊急：2
千葉県	総数：3	緊急：0
その他	総数：2	緊急：0